

—学 会 録 事—

1. 日本藻類学会講演会および懇親会 (報告)

日本植物学会開期中(昭和56年10月5~7日)に関連集会の1つとして恒例となった本学会の講演会・懇親会が10月5日午後5時過ぎから、岐阜大学教養部で開催された。千原光雄会長から挨拶と演者の紹介があり、「シドニーの国際植物学会議に出席して」と題し秋山優氏(島根大・教育)が、本年8月オーストラリア、シドニー大学で行なわれた第13回国際植物学会議のシンポジウムを話題を中心に、また横浜康継氏(筑波大学、下田臨海実験センター)がエクスカージョンを中心に講演を行った。秋山氏は日本人研究者のシンポジウムでの活躍ぶりや開会式・会議中の印象深い出来事を、横浜氏は豊富なカラースライドを披露しながら会議中の宿舎における生活ぶりやポストエクスカージョンで旅行されたグレート・バリアー・リーフ(ヘロン島)での探訪の様子を紹介した。

講演後懇親会に移り、久しぶりに参加された広瀬弘幸氏をはじめ歴代会長の中村義輝氏、西澤一俊氏から最近の藻類学会の印象を混じえた楽しいスピーチがあった。

歓談後、編集委員長の堀輝三氏から「藻類」への投稿原稿、とくに図、写真の作成要領の詳細な説明があり、スムーズな編集業務の遂行のために会員各位の協力が要請された。最後に若手会員の自己紹介があり、和気合々のうちに終了した。世話人の渡辺信氏(富山大・教育)の軽妙な司会と相俟って、なごやかな楽しい会であった。

参加者は以下のとおりである。

赤塚伊三武・秋山 優・鯉坂哲朗・新崎盛敏・有賀祐勝・池森雅彦・石川依久子・石田政弘・糸野 洋・巖佐耕三・大崎万治・大谷修司・大森長朗・岡崎恵視・奥田一雄・奥田武男・川井浩史・工藤利彦・熊野 茂・小林艶子・斎藤捷一・斎藤宗勝・嵯峨直恒・坂井與志雄・坂西彦彦・清水 哲・鈴木健策・瀬戸良三・造力武彦・高橋京子・館脇正和・田中次郎・谷口森俊・千原光雄・中沢信午・長島秀行・中野武登・中村義輝・西澤一俊・野崎久義・野沢美智子・橋田順子・原

慶明・坂東忠司・平山知子・広瀬弘幸・広瀬美枝・福島 博・福田育二郎・舟橋説往・堀 輝三・堀口健雄・正置富太郎・真山茂樹・水沢政雄・水野 真・本村泰三・山岸高旺・横浜康継・吉崎 誠・渡辺 信・渡辺真之。以上62名

2. 評議員会 (報告)

昭和56年10月5日正午より、岐阜大学教養部で開催された。

出席者・会長：千原光雄。評議員：秋山 優、奥田武男、大森長朗、坂井與志雄、館脇正和、谷口森俊、中沢信午、西澤一俊、廣瀬弘幸。編集委員長：堀 輝三。幹事：原 慶明、横浜康継、渡辺真之。

a. 報告事項

担当幹事より56年9月30日現在の庶務、会計及び編集の状況報告があった。会員数は672名(56年1月1日で646名)で増加傾向にある。会誌の増頁や郵税の値上り等により、支出がかさんでいるが、他の支出を抑え、定期購読やバックナンバーの売上げ増で比較的健全な運営がされている。投稿論文数が急増し、57年度へ20編以上が持ち越され、その措置を検討しなければならない、等が説明された。

b. 審議事項

- (1) 日本藻類学会創立30周年(昭和57年度)に伴う事業または行事について。
- (2) 会誌「藻類」への投稿原稿の増加に伴う措置について。
- (3) 名誉会員について。
- (4) その他。

上記の議題について予定時間を上廻る熱心な審議が行われた結果、57年度の春季大会の際に30周年記念講演会を開催すること、およびその内容を何らかの形で「藻類」に掲載することについては結論を得たが、その他については慎重を要することから継続審議とすることが諒承された。しかし議題に対する評議員の意向が明らかにされたので、それらを踏まえて具体的な原案を事務局が作成し、その可否を持ち回り評議員で、聞くこととなった。